

安房高生へ

生徒の皆さんへ伝えたい思いがあつてお話しします。

かつて「進路は団体戦だ」との言葉を聞いたことがあります。最初聞いたときはピンときませんでした。進路は、一人ひとりのこと、それこそ個人の戦いではないかと思っていました。今はその言葉が意味するところが理解できてきたように思います。

3年生の皆さん、私たちも含め誰も経験したことのない状況下での進路決定への道のり、その中での皆さんの歩み、頑張り、本当に頼もしく感じています。

その道程もいよいよというところに来ています。

思いとは、これからそこに向けて頑張る仲間、すでに進路を決めた仲間としてどう向き合うか、また1, 2年生…やがて同じ道を行くであろう後輩としてどう向き合うべきかを考えたとき、冒頭の言葉「進路は団体戦だ」を思い起こしました。

自らが感染症に罹患しないように注意するとともに、大切な時期を迎える仲間を支えるために一人ひとりがどうあるべきかを共に考えられる集団で、学校でありたいと思います。

そのことを前提に、一つ具体的なお願いがあります。

昨日、県内の公立高校にて部活動内での集団感染を含めた大規模なクラスターが発生したとの報道がありました。

厳しい練習、そして県内大会を勝ち抜き、目前に迫った全国大会…3年生最後の大会となるその舞台に臨むにあたり、細心の注意を払っていたであろうことは容易に想像できます。

しかしそれでも防ぐことができませんでした。状況は、私たちの想像を超え深刻化しています。校長として以下のことをお願いします。

大切な時期を迎えるにあたり、そしてこの困難をみんなで乗り越えていくために、今日からの一週間を感染症防止対策再徹底の期間としたいと思います。

この間、各部活動等においては、再度感染症対策を見直し、活動の在り方や部室等での過ごし方などを含め、更に一段高いレベルでの防止策を講じてほしいと思います。

今後、県大会や大切なイベント等がひかえる部活動もあるなか、安全対策上、活動には慎重を期してほしいと再三お願いするのは本当に忍びないですが、ここまで歩いてきた歩みを止めないために理解と協力をお願いします。

「夜明け前が一番暗い」と云われます。

やがて来るはずの春に向けてみんなで歩んで行けるよう頑張りましょう。

令和2年12月11日

校長 石井浩己